ボランティア活動に行く前にお読みください！

1）ボランティア活動の心構え
依頼者の気持ちを尊重してください。相手によって望んでいることは違います。自分に合わせて活動するのではなく、相手に合わせて無理強いしないようおに活動して下さい。

2）活動する時の注意

●依頼者のお宅／避難所に着いたら
「□□市災害ボランティアセンターから来ました」と伝え、依頼者に「依頼者へのご案内」を渡してください。そして、作業内容の確認をしてください。
●こんな時は、必ず災害ボランティアセンターへ連絡してください。
「ケガをした時」、「体調が悪くなった時」、「活動が危険または手に負えないと判断される時」
「依頼された以外の活動を頼まれた時」「判断に困った時」

①自分のことは自分で守る （自己責任です）
・安全に活動するためにも休憩を取りましょう。（30分に1～2回程度）
・安全には十分注意してください。建物内で裸足が危険な所は、土足でよいか確認して下さい。
・昼食を挟んでの活動が見込まれる場合は、昼食を各自でボランティア活動に行く前に調達してください。また、宿泊場所の確保、交通費や貴重品の管理なども自分でしてください。
・活動中に天候が悪くなった時には、活動を中止してボランティアセンターに戻るようにしてください。

②被災者の立場に立った活動をする
・混乱している被災者の心をかき乱すような態度は好ましくありません。挨拶や言葉遣いには気をつけましょう。
・被災地でのカメラなどの撮影は控えて下さい。被災者のプライバシーを守りましょう。
・被災者の思いでの品物もありますので、必要なものか捨ててもいいのか確認をしてください。

③集団行動のルールを守る
・災害ボランティア活動はグループでの活動です。勝手な判断をするのはやめ、問題が起きたらグループで
相談して解決するか、リーダーに指示をあおぎましょう。それでも解決が難しい場合はボランティアセン
・必ず2人以上で行動してください。持ち場を離れる場合はリーダーへ連絡してください。

④断る勇気を持つ
・被災者からの依頼内容に応じた活動をしてください。活動内容以外のことを依頼された時には、ボランティアセンターに確認してください。

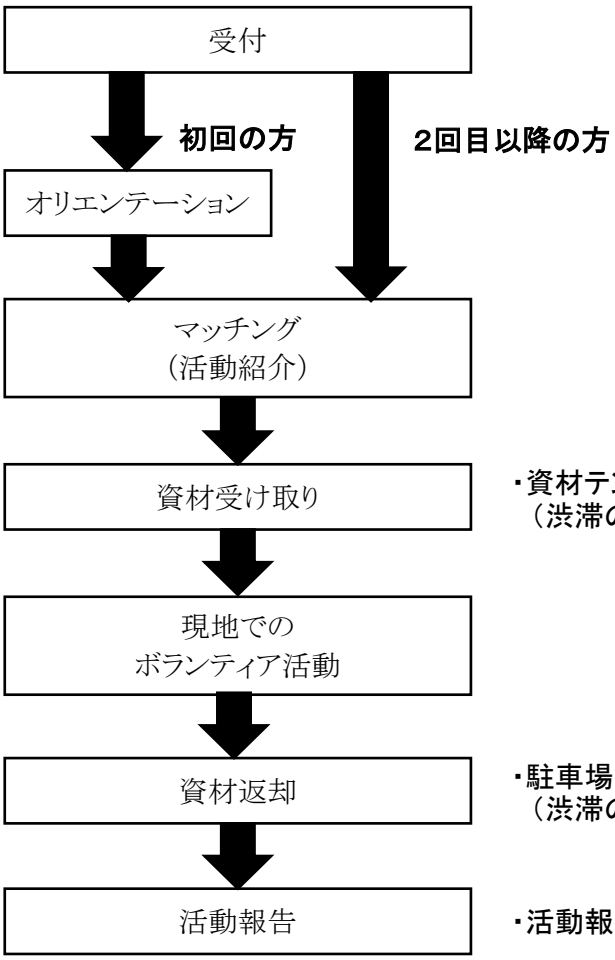
⑤その他
・危険な作業、企業の営利行為（店舗の片付け等）、政治的・宗教活動への手伝いは断って下さい。
・謝礼は受け取らないで下さい。（お茶やジュースくらいであれば気持ちよく頂きましょう。）
・ゴミは分別をきちんと行い、決められた場所に捨てるようにしましょう。
・マスコミ等からの取材に対しては、不確実な情報は話さないでください。マスコミ報道の影響力は大変大きく、間違った情報が流れると混乱の原因になります。

3）活動が終わったら

※決められた時間までに戻ってきてください！事故を防ぐためにも時間厳守してください。

・依頼者に、作業終了の確認をお願いして下さい。
・活動が終了し、送迎が必要なグループは、災害ボランティアセンターに連絡して下さい。
・災害ボランティアセンターに戻ってきたら、資材の返却および活動報告を行ってください。

4）災害ボランティア活動の流れ



・資材テントから資材を受け取り、車まで持って運んで下さい。
（渋滞の原因となりますので、ご協力下さい。）

・駐車場に車を止めて、資材テントまで持って運んで下さい。
（渋滞の原因となりますので、ご協力下さい。）

・活動報告はリーダーが行います。

※活動時間に制限のある方（午前中しか活動できない等）は、スタッフまでお知らせ下さい。
※資材運搬及び乗り合いのための車輌を提供いただける方は、ご協力ください。

ご不明な点は随時スタッフまで！！